
2023 年 9 月期

決算説明資料

2023年 11月10日
株式会社 学研ホールディングス

INDEX

2023年9月期 決算ハイライト P.03
2023年9月期 決算概要 P.06
教育分野 決算 P.11
医療福祉分野 決算 P.15
Gakken2023 総括 P.17
決算補足資料 P.21

2023年9月期決算 ハイライト

2023年9月期決算 連結業績サマリー

※単位未満は四捨五入です。

売上高

1,641.2

億円

前年同期比

+5.2% ↗

医療福祉分野の成長などにより14期連続增收

EBITDA

93.2

億円

前年同期比

-1.4% ↓

営業利益減に伴う減少

営業利益

61.7

億円

前年同期比

-4.0% ↓

出版事業、園・学校事業の事業環境悪化が影響

当期純利益*

31.9

億円

前年同期比

-7.2% ↓

営業利益減と投資有価証券の評価損が影響

*親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益

64.8

億円

前年同期比

-6.5% ↓

営業利益減に伴い減益

1株あたり配当金

25.0

円

前年同期比

+1.0円 ↗

当初予想通り増配（配当性向34.5%）

2023年9月期 トピックス

【グローバル】ベトナムの教科書会社DTP社と業務資本提携



今年3月、(株)学研ホールディングスはベトナム英語教科書市場で30%以上のシェアを持つDTPエデュケーション・ソリューションズ社の株式35%を取得し、経営に参画した。直近3年の主要施策として1) STEAMコンテンツの現地校での展開 2) 学研グループおよび国内出版社の良質なコンテンツ輸出、3) オンライン英会話のベトナムでの展開を推し進める。中長期的には東南アジア各国で協業に取り組む。

【教育】エヌイーHD、市進HDのグループインで大都市圏の塾事業強化



株式会社エヌイーホールディングス



今年5月、名古屋を中心に学習塾を展開する(株)エヌイーホールディングスがグループイン。さらに7月には首都圏を中心に学習塾等の教育サービスを幅広く展開する(株)市進ホールディングスがグループイン。都市部における塾事業の基盤強化が大きく前進した。今後は既存グループ塾との間での経営上・教務上のノウハウ共有や、(株)市進ホールディングスの持つ教育リソース活用の拡充を通して、グループ塾事業全体の業績向上を図る。

【医療福祉】グランユニライフケアサービスの全株式を取得



今年9月、高齢者住宅事業を展開する(株)学研ココファンは(株)グランユニライフケアサービス（以下GUCS）社の全株式を取得する契約を締結。同社のサービス付き高齢者住宅全棟を譲受した。同時に(株)学研ホールディングスはGUCS社の親会社である(株)ジェイ・エス・ピー社と業務提携契約を締結した。今後、不動産情報の共有・活用や、新たなまちづくり(学生と高齢者の共生型住まい、大学連携版CCRCの構築など)の共同企画開発等を目指す。

2023年9月期

決算概要

2023年9月期決算 エグゼクティブ サマリー

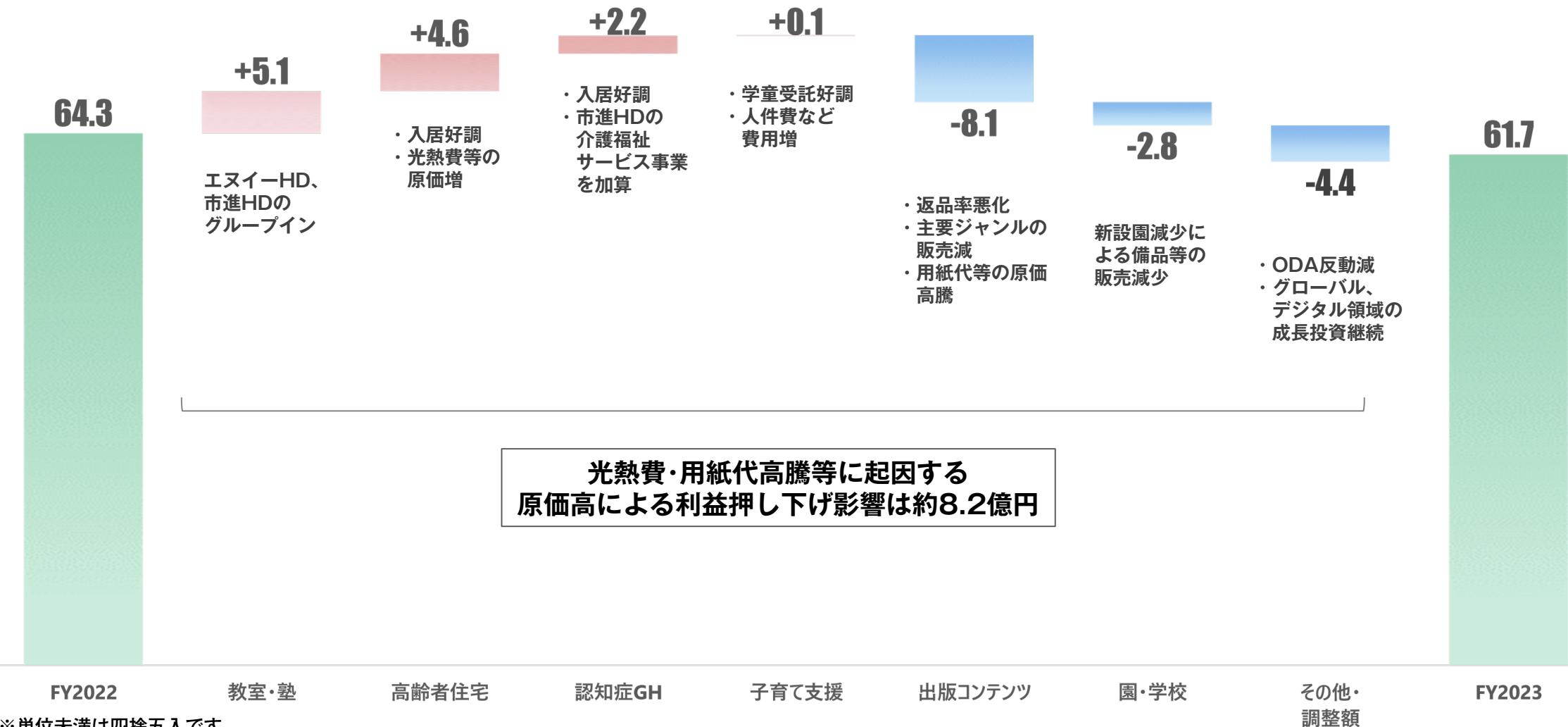
売上高	: 1,641.2億円	(前期比+5.2%)
営業利益	: 61.7億円	(前期比-4.0%)
経常利益	: 64.8億円	(前期比-6.5%)
当期純利益	: 31.9億円	(前期比-7.2%)

- ・連結売上高：医療福祉分野の成長と、(株)市進HDの連結化等を主因に5.2%增收
- ・営業利益：4.0%の減益。出版事業と園・学校事業の不振が利益を押し下げるも医療福祉分野の利益増や(株)市進HD等のグループインの効果により4Qで挽回
- ・経常利益：営業利益減に伴い減益
- ・当期純利益：営業利益減と投資有価証券の評価損（9.5億円）により減益

営業利益 増減分析

単位：億円

出版事業の販売不振と返品率悪化、園・学校事業の外部環境悪化などを主因に減益



2023年9月期 セグメント別業績サマリー

単位：億円

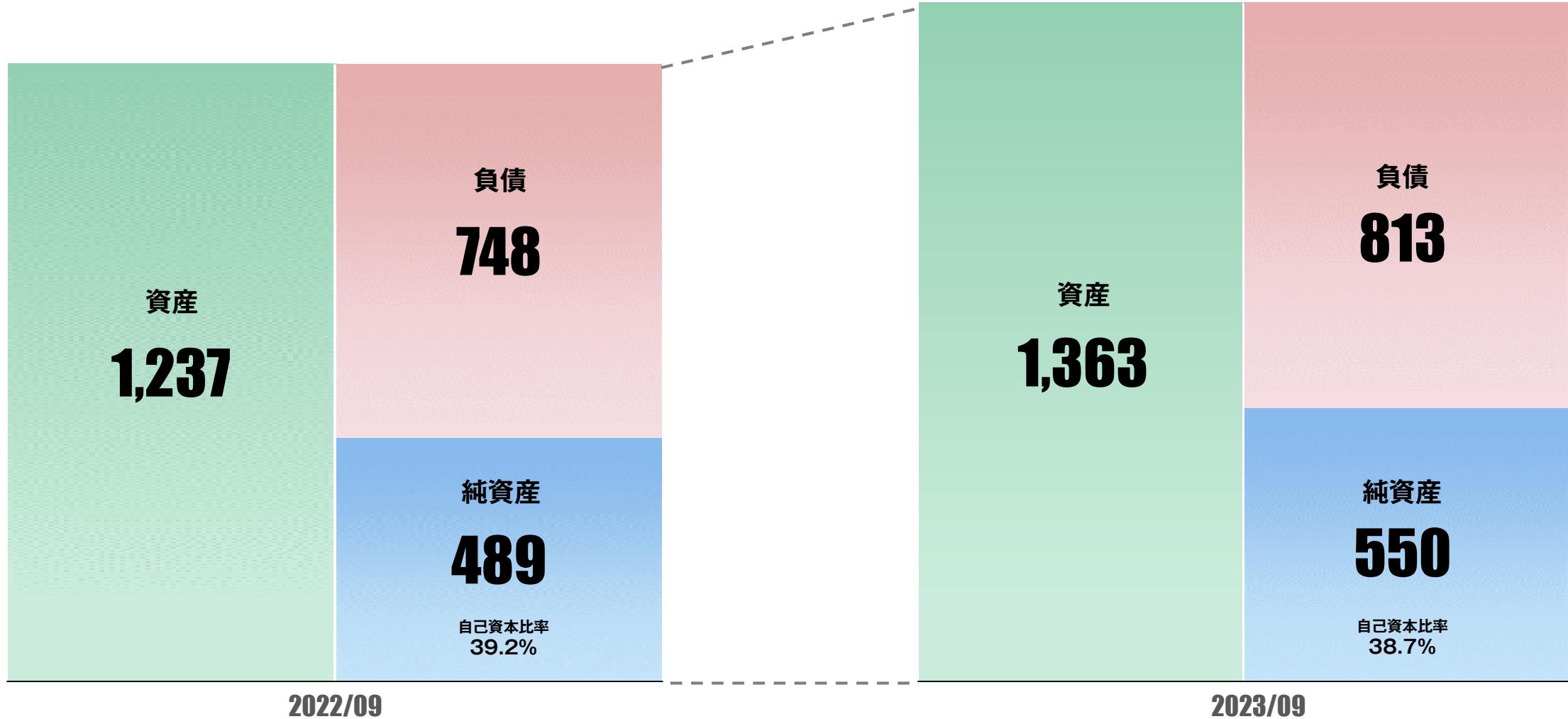
セグメント	FY2022 実績		FY2023 実績		増減（対前期）	
	事業	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高
教育分野	781.7	44.3	794.9	39.4	+13.2	△ 4.9
教室・塾	314.4	12.7	350.9	17.8	+36.5	+5.1
出版コンテンツ	323.7	31.7	308.2	23.5	△ 15.5	△ 8.1
園・学校	143.6	3.0	135.8	0.2	△ 7.8	△ 2.8
のれん	-	△ 3.1	-	△ 2.1	-	+0.9
医療福祉分野	722.4	31.5	785.9	38.2	+63.5	+6.7
高齢者住宅	323.7	14.2	360.3	18.7	+36.5	+4.6
認知症グループホーム	341.0	20.7	363.4	22.9	+22.4	+2.2
子育て支援	57.6	1.2	62.2	1.3	+4.6	+0.1
のれん	-	△ 4.6	-	△ 4.7	-	△ 0.1
その他	56.3	8.1	60.4	4.0	+4.1	△ 4.0
調整額	-	△ 19.6	-	△ 19.9	-	△ 0.4
グループ合計	1,560.3	64.3	1,641.2	61.7	+80.8	△ 2.6

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

連結財政状態

単位：億円

自己資本比率は健全な水準を維持しており、今後の投資状況に特段の懸念はない



※単位未満は四捨五入です。

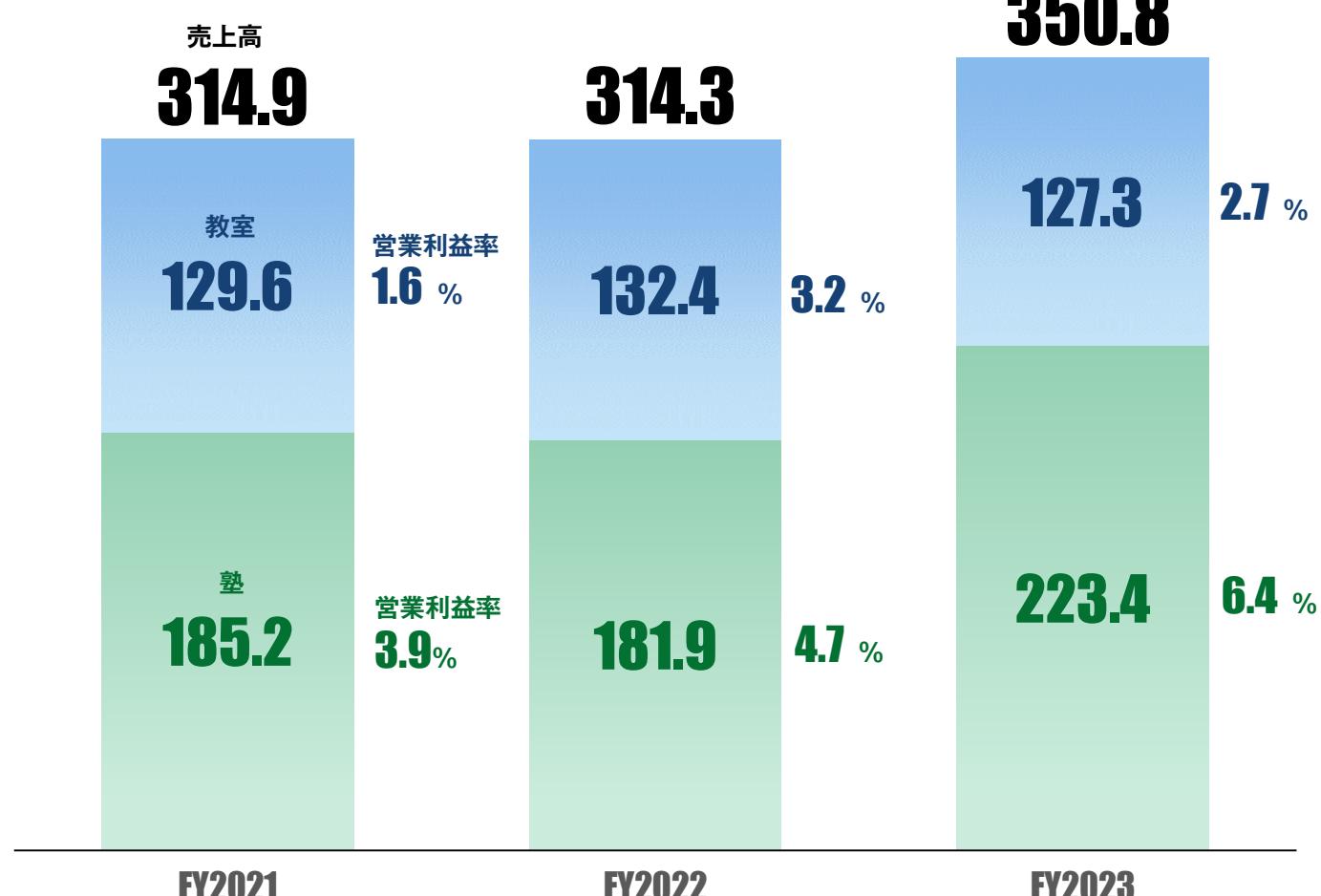
教育分野 決算

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等を制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・教材の制作・販売。企業向け研修も展開

教室・塾事業 決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・(株)エヌイー ホールディングス、
(株)市進ホールディングスを
当第4四半期に連結化
- ・オンライン国語指導サービス
「ことばパーク」の会員数が
着実に伸張
- ・バーチャル・スマート・キャンパス
(ViSC) の導入塾が増加

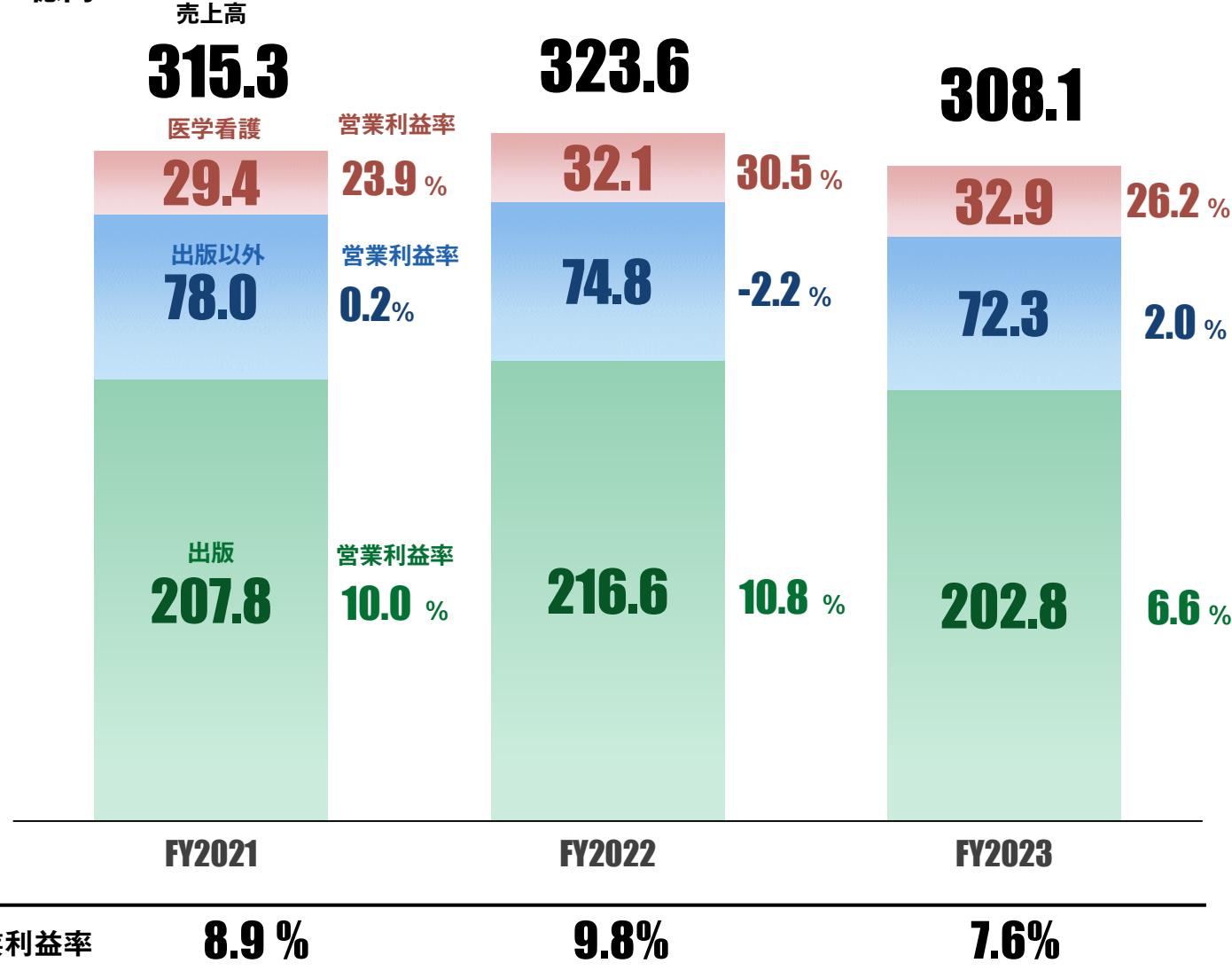
ネガティブ要素

- ・物価高影響のため、教育費を
抑制する家庭が増加
- ・中学生の通塾率が微減
- ・春期講習・夏期講習など
季節講習の受講者数が伸び悩み

※単位未満は切り捨てです。

出版コンテンツ事業 決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・(株)地球の歩き方の地図ガイド本が好調継続
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調
- ・トイ事業の(株)学研ステイフルを第4四半期に持分法適用関連会社化

ネガティブ要素

- ・書籍返品率は前期比で3.8%pt悪化
前期：23.7%→当期：27.5%
- ・児童書、学参など主要ジャンルの販売低調
- ・用紙代や原材料費、物流費等のコスト上昇

※単位未満は切り捨てです。

園・学校事業 決算サマリー

単位：億円

売上高
158.9

社会人
10.5

学校
40.2

幼児
108.2

営業利益率
22.5 %

営業利益率
7.2 %

営業利益率
2.0 %

143.6

10.4
19.9%

33.7

99.5

0.2 %

135.8

10.5
16.0 %

32.0

93.1

-1.5 %

FY2021

FY2022

FY2023

営業利益率

4.7 %

2.1 %

0.2 %

※単位未満は切り捨てです。

ポジティブ要素

- ・ 幼児事業の主力商材
月刊誌「つながるえほん」堅調
- ・ 副読本、小論文模試が順調に推移

ネガティブ要素

- ・ 教科書採択の端境期のため教師用指導書の売上なし
- ・ 新設園減少に伴い、園向け大型遊具・備品受注が低調
- ・ 補助金減少、需要低迷による先生向けエプロンなどオリジナル商品の販売不振

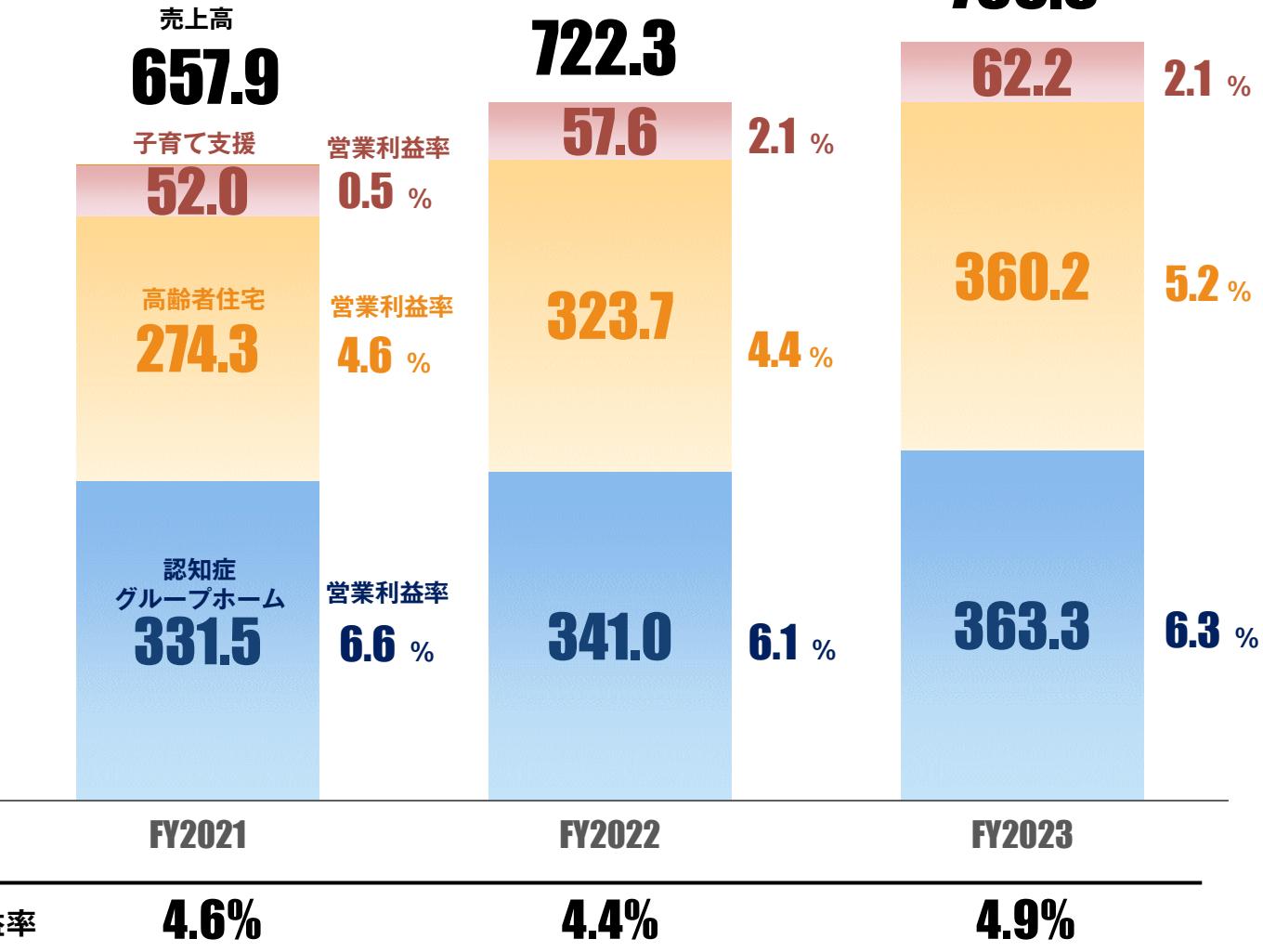
医療福祉分野 決算

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 … グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・新規開設順調
 - 高齢者住宅（13事業所）
 - 認知症GH（15事業所）
 - 学童保育等（10事業所）
- ・入居率、充足率は高水準で推移
 - 高齢者住宅 97.1%
 - 認知症GH 96.8%
 - 保育園 95.3%

ネガティブ要素

- ・建設費高騰に伴う新規開設の先送りなど、一部オーナーの建設判断に慎重な動き
- ・食材費等物価高騰に伴うコスト増
- ・光熱費の高騰によるコスト増（既存店比較で約6億円の影響）

※単位未満は切り捨てです。

※2023年7月に連結化した(株)市進ホールディングスの介護福祉サービス事業を認知症グループホーム事業に含めています。

※認知症グループホーム事業の新規開設数、入居率には(株)市進ホールディングスの実績を含みません。

Gakken2023

総括

中期経営計画 Gakken2023

「 摺るぎない成長基盤の確立 」

教育

新たな学びの創造と
多様な学習機会の創出

医療福祉

トップカンパニーを目指し
持続可能な街づくりに貢献

DXの加速とグローバル展開

グループガバナンスの強化と資本コスト経営

・・・
**持続的な
企業価値向上**

Gakken2023 3か年の業績推移

21年9月期は売上・利益とも計画を達成

22年9月期はオミクロン株感染拡大や光熱費高騰等の影響により収益とも計画未達ながら、增收増益は維持

23年9月期（最終年度）は直近の業績予想を上回るも当初計画は未達

単位：億円

連結	2021年9月期		2022年9月期		2023年9月期				
	計画	実績	計画	実績	当初計画 (20/11/13)	修正予想 (22/11/11)	修正予想 (23/8/11)	実績	対当初計画 達成率・差異
売上高	1,460	1,503	1,570	1,560	1,650	1,620	1,600	1,641.2	99.4%
営業利益	56.0	62.4	67.0	64.3	75.0	67.0	56.0	61.7	82.3%
営業利益率	3.8%	4.2%	4.2%	4.1%	4.5%	4.1%	3.5%	3.8%	-0.7%pt
経常利益	57.0	61.3	68.0	69.3	—	70.0	61.0	64.8	—
当期純利益	28.0	26.2	34.0	34.4	38.0	36.0	33.0	31.9	83.9%
ROE	6.5%	6.3%	7.1%	7.2%	8.0%	7.2%	—	6.3%	-1.7%pt

※単位未満は四捨五入です。

新・中期経営計画 Gakken2025に向けた総括

- ・コロナ禍や少子化の加速など環境激変のなかで
“揺るぎない成長基盤の確立”に取り組むも2年目後半より失速
- ・医療福祉分野は成長モデルを確立。引き続きトップカンパニーを目指す
- ・グローバルは戦略地域を特定。現地パートナーとの協業も一定の進捗
- ・DXはプロダクト開発を進めるもスケールには至らず
- ・成長投資を積極的に進めたが収益貢献に課題
持続的成長に向けた最重要テーマは、教育分野の立て直しと収益力改善
リカレント・リスキリング領域のサービス・コンテンツ拡充など
新たな成長軸の確立や、不採算事業の整理が急務

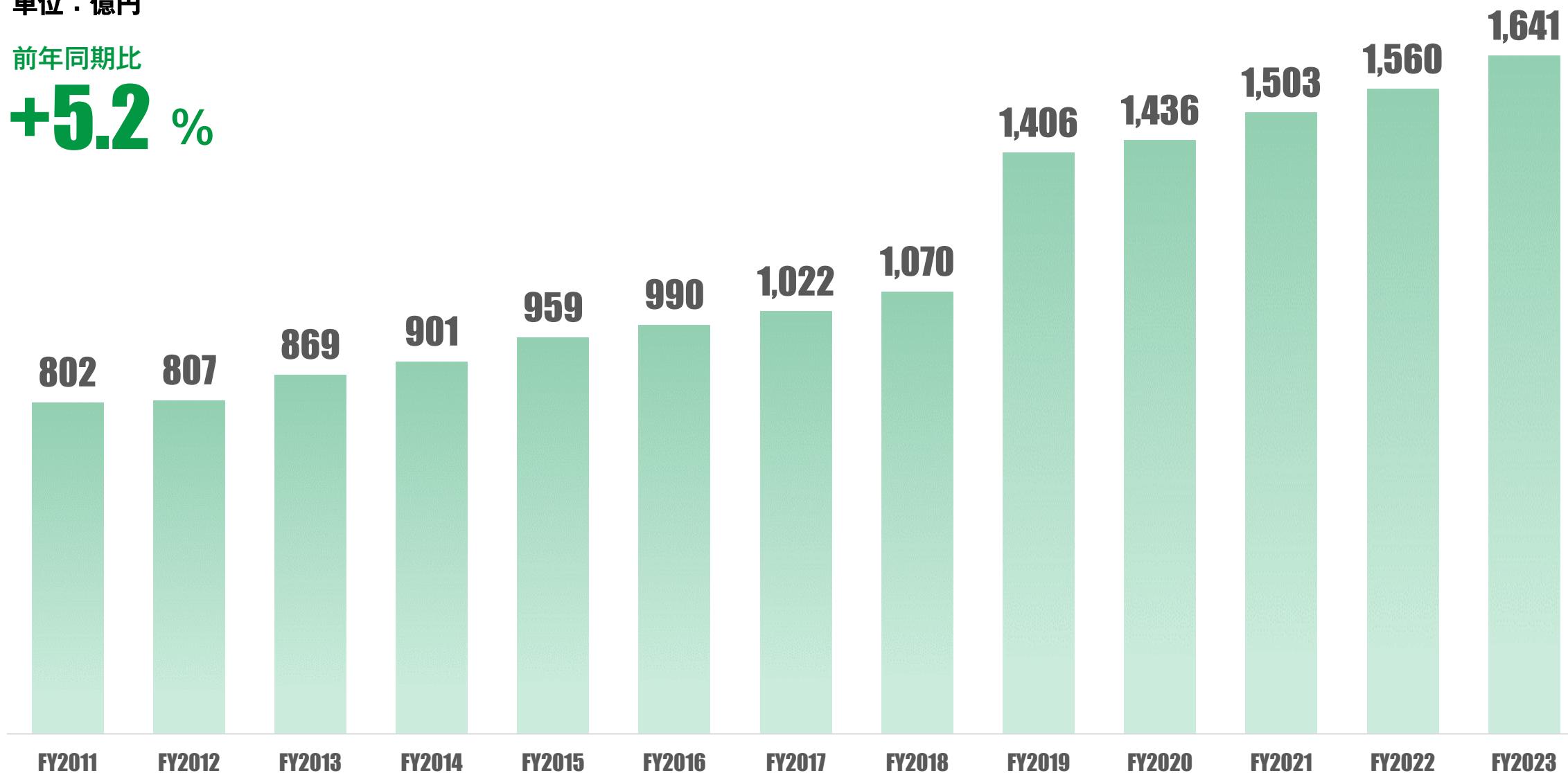
決算補足資料

通期 売上高推移

単位：億円

前年同期比

+5.2 %



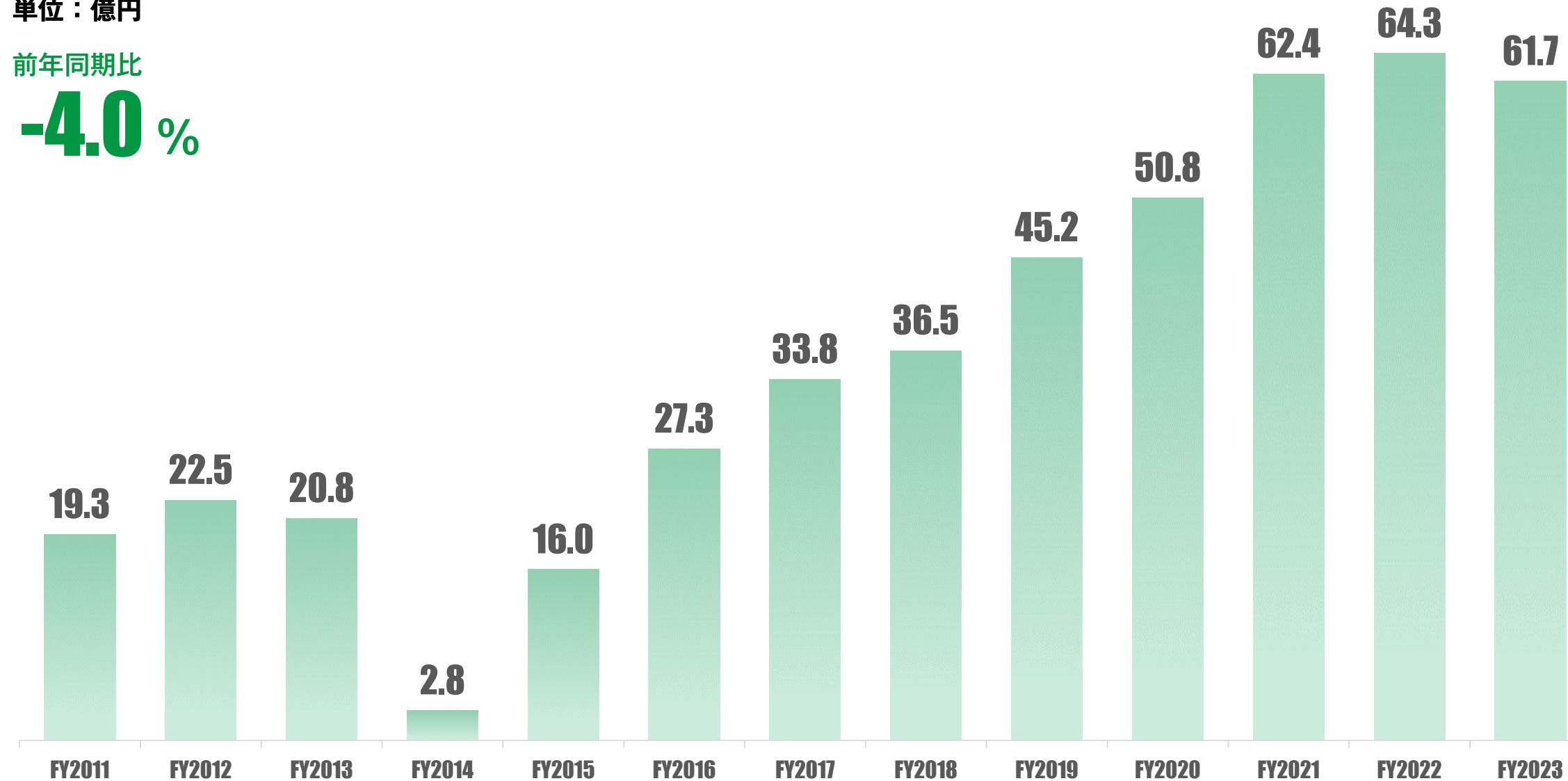
※単位未満は四捨五入です。

通期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比

-4.0 %



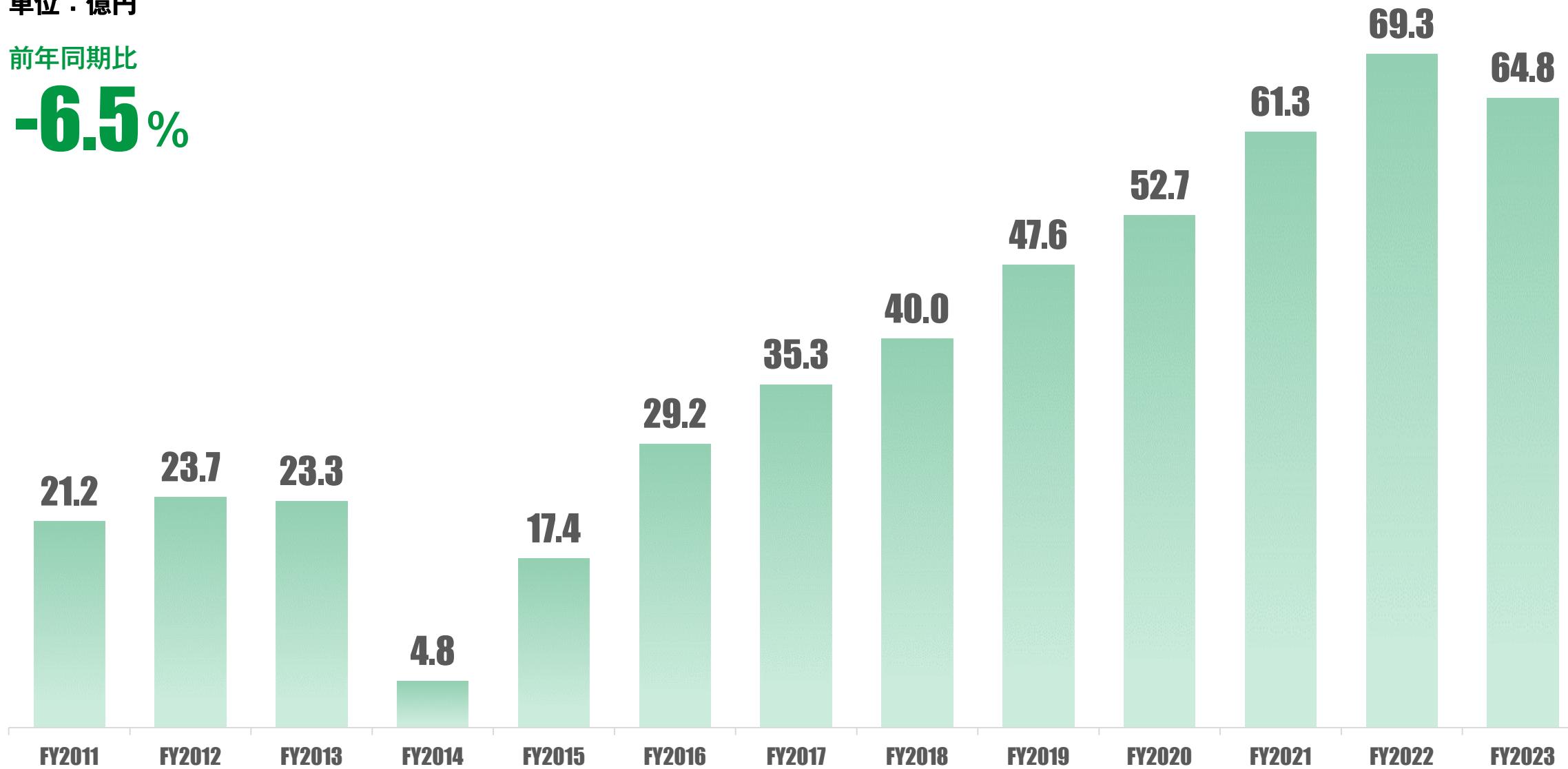
※単位未満は四捨五入です。

通期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比

-6.5%



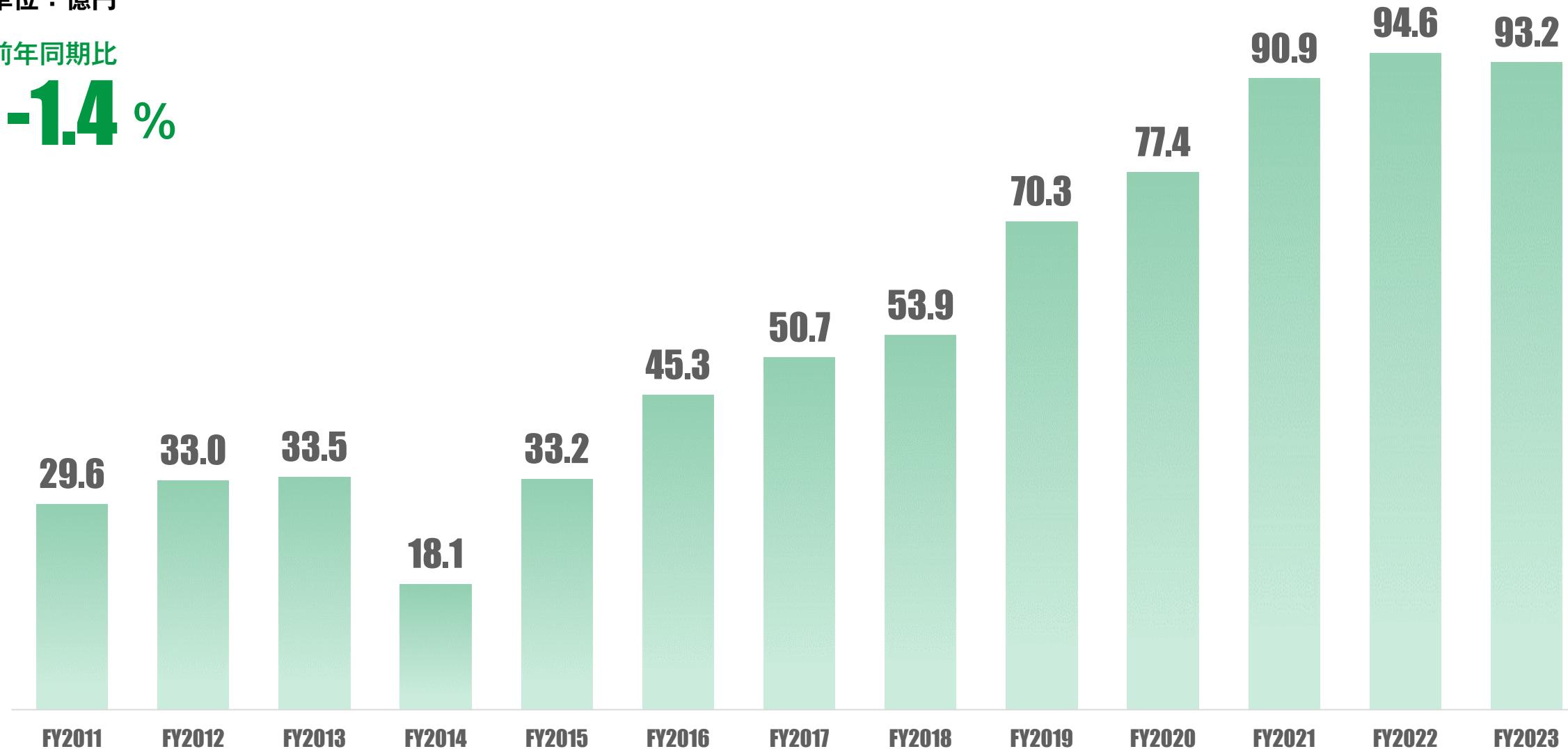
※単位未満は四捨五入です。

通期 EBITDA 推移^{*}

単位：億円

前年同期比

-1.4 %



* 営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。

* 単位未満は四捨五入です。

2023年9月期 第4四半期（3か月）セグメント別業績サマリー

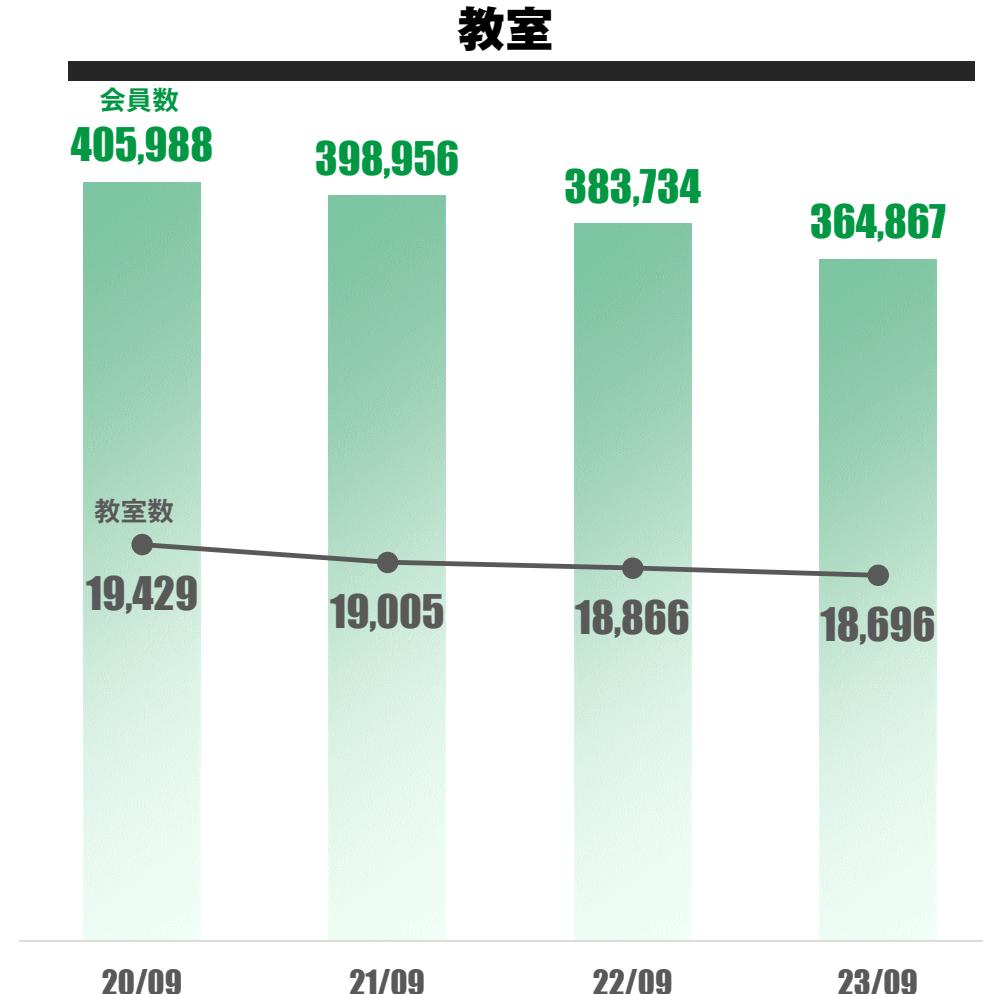
単位：億円

セグメント	FY2022 4Q (3か月) 実績		FY2023 4Q (3か月) 実績		増減（対前期）		
	事業	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野		188.3	11.4	222.2	19.9	+33.8	+8.4
教室・塾		83.1	7.2	127.0	16.7	+43.9	+9.6
出版コンテンツ		77.3	6.7	70.2	5.5	△ 7.1	△ 1.2
園・学校		27.9	△ 1.6	25.0	△ 1.4	△ 2.9	+0.2
のれん		-	△ 0.8	-	△ 1.0	-	△ 0.2
医療福祉分野		188.4	9.0	208.7	13.7	+20.3	+4.7
高齢者住宅		86.5	4.8	95.0	8.9	+8.5	+4.1
認知症グループホーム		87.3	5.5	97.9	5.7	+10.6	+0.2
子育て支援		14.6	△ 0.1	15.8	0.4	+1.2	+0.5
のれん		-	△ 1.2	-	△ 1.2	-	△ 0.1
その他		13.5	1.9	16.7	0.7	+3.2	△ 1.2
調整額		-	△ 5.9	-	△ 5.6	-	+0.3
グループ合計		390.2	16.4	447.5	28.6	+57.3	+12.2

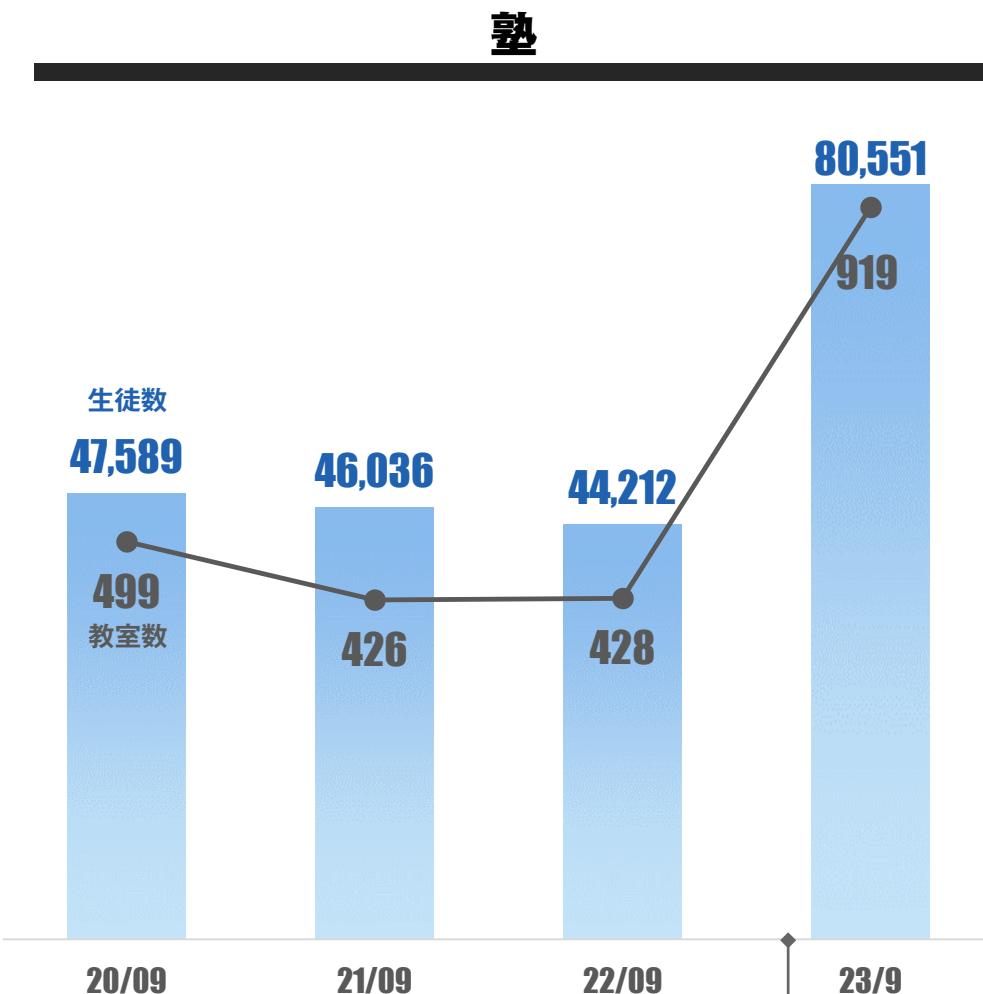
※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

教室・塾事業 会員数・教室数

塾事業は(株)エヌイーホールディングス、(株)市進ホールディングスのグループインにより生徒数、教室数とも増加
学研教室は新年度生募集・自宅型が振るわず回復基調に至らず。幼児教室は新設数増加も、会員数足踏み



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。事業譲受に伴い、
2020年9月以降には小学館アカデミー、2021年7月以降にはめばえ教室の実績を含みます。



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※2023年7月に(株)市進ホールディングスがグループイン

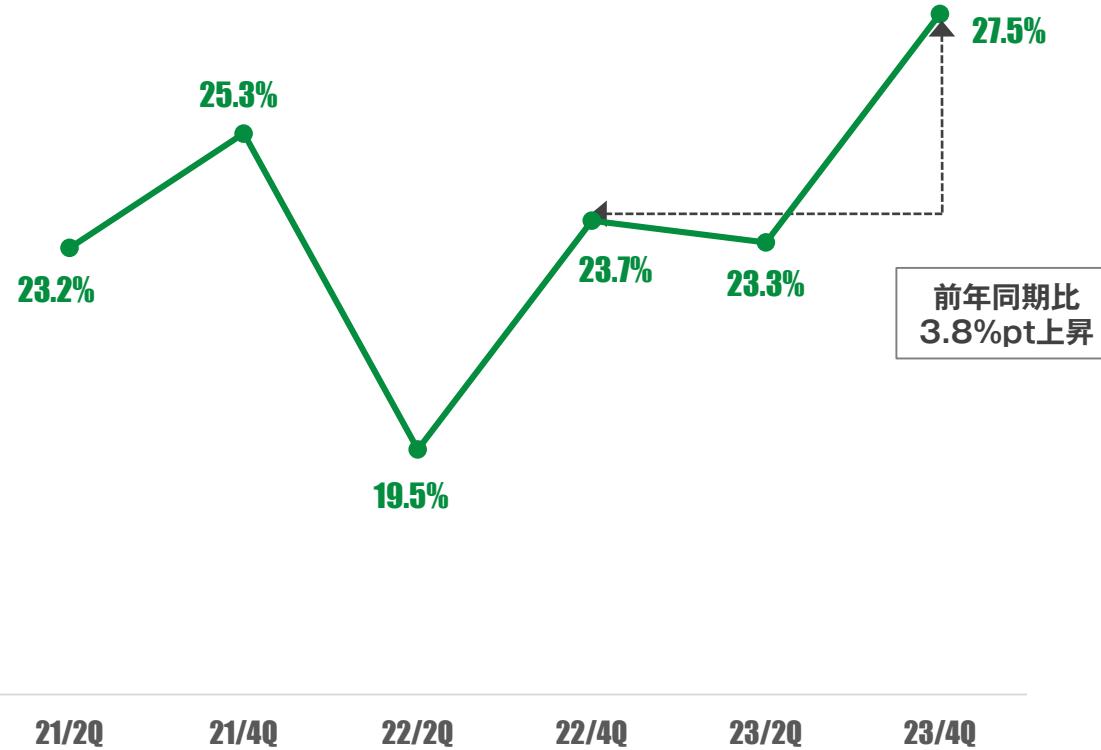
出版事業 書籍新刊点数／返品率

新刊発刊点数は「地球の歩き方」が牽引する実用書ジャンルで増加。当期の累計返品率は前年同期比で3.8%pt悪化

書籍新刊点数（期中累計）^{*1}

	21/09	22/09	23/09
児童書	192	194	194
学習参考書	172	178	207
実用書	160 ^{*2}	187	215
ムック	46	51	47
その他書籍	87	123	170
合計	657	733	833

書籍返品率（期中累計）

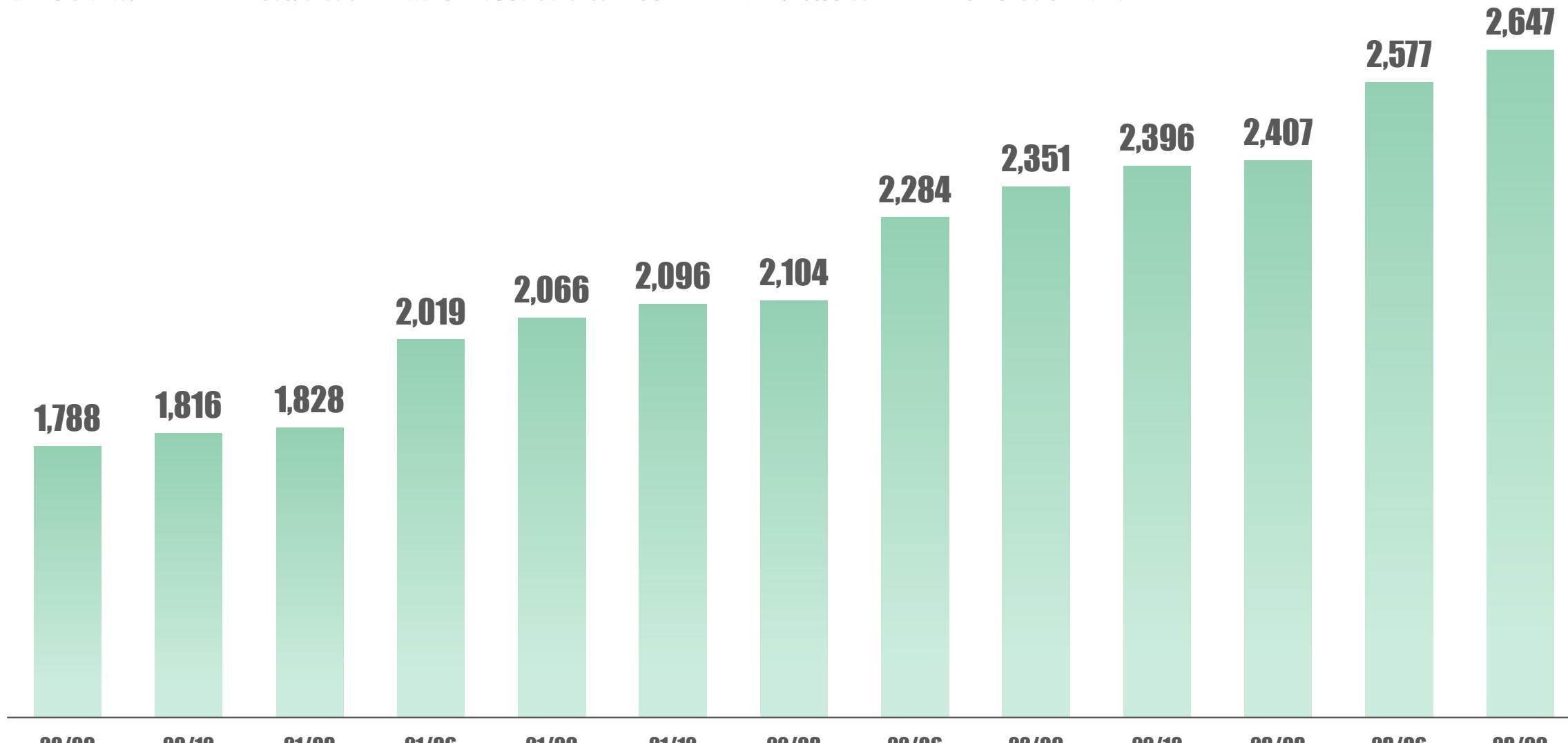


*1 書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は(株)Gakken と (株)地球の歩き方の合算です。 (株)文理の数値は含みません。

*2 (株)地球の歩き方の実用書新刊点数について：2021年グループイン当初の発行所・発売元変更に伴う新刊発刊は、同年の実用書新刊点数から差し引いています。

医学・看護事業 看護師向けeラーニング契約病院数

前年同期比で296病院増加。新年度利用開始に伴い3Qで大幅増となる事業特性あり



学校事業 教科書発行スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

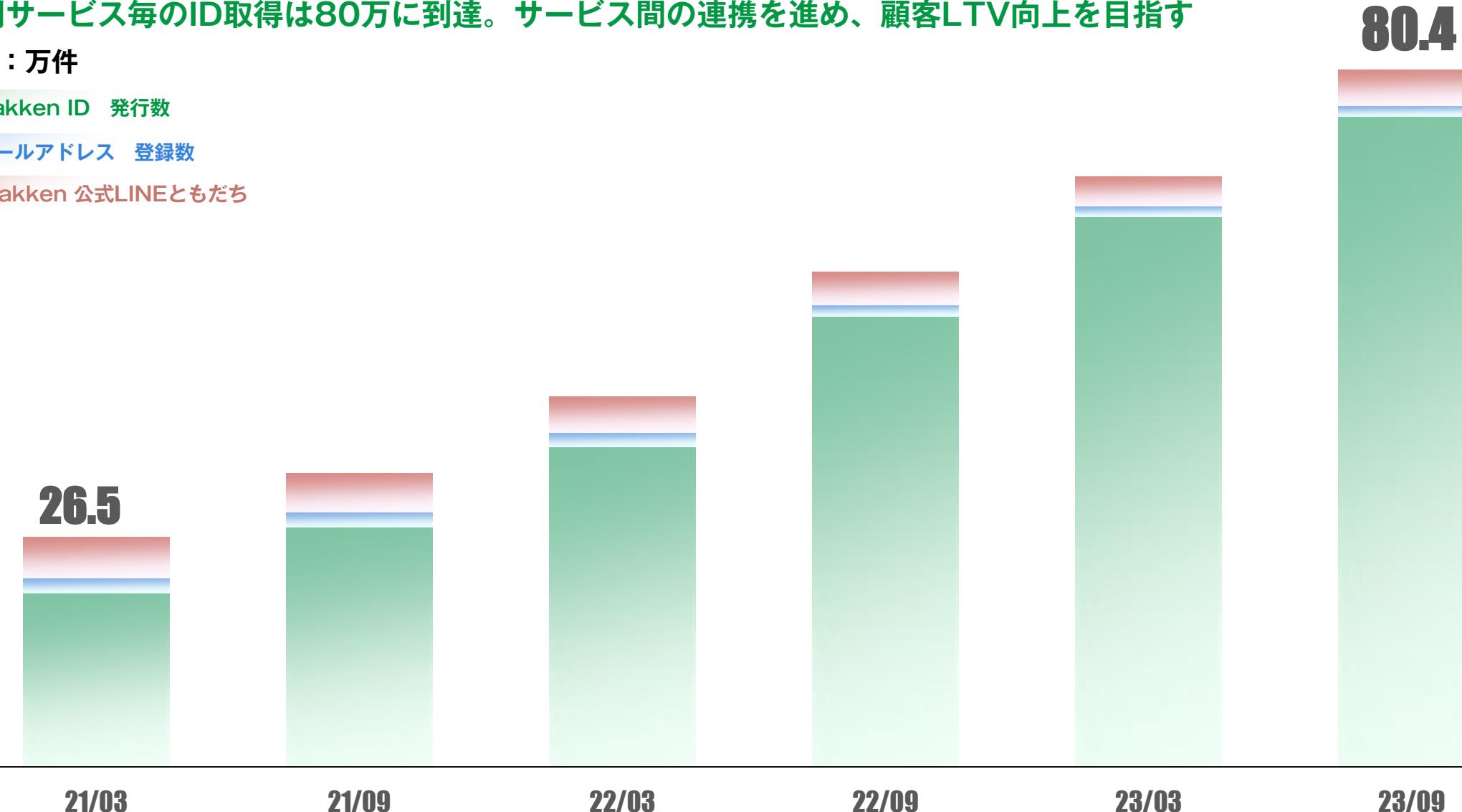
	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
小学 保健	●	◎		△	●	◎	
中学 保体	△	●	◎		△	●	◎
小学 道徳	●	◎		△	●	◎	
中学 道徳	◎ △	●	◎		△	●	◎

※教師用指導書の売上は「◎使用開始」年度に集中します。

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

個別サービス毎のID取得は80万に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す

単位：万件



新規開設計画進捗／拠点数

- ・高齢者人口の増加や放課後の預かりニーズ需要増に対応するため、積極的な新規開設ペースを継続
- ・M&Aによる事業譲受や子育て支援施設で開設数を積み増し、通期計画を118%達成

単位：開発数

	FY2022	FY2023							
	前期 開設実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期 実績	通期 計画	対通期計画 進捗	
高齢者住宅	21 事業所 (22棟)	4	2	3 M&A: 1件含	4	13	16~22	81.3%	
認知症 グループ ホーム	11	3 M&A: 1件含	3 M&A: 1件含	5 M&A: 2件含	4	15	12~15	125.0%	
子育て支援 施設	3	4	2	3	1	10	4	250.0%	
合計	35	11	7	11	9	38	32~41	118.8%	

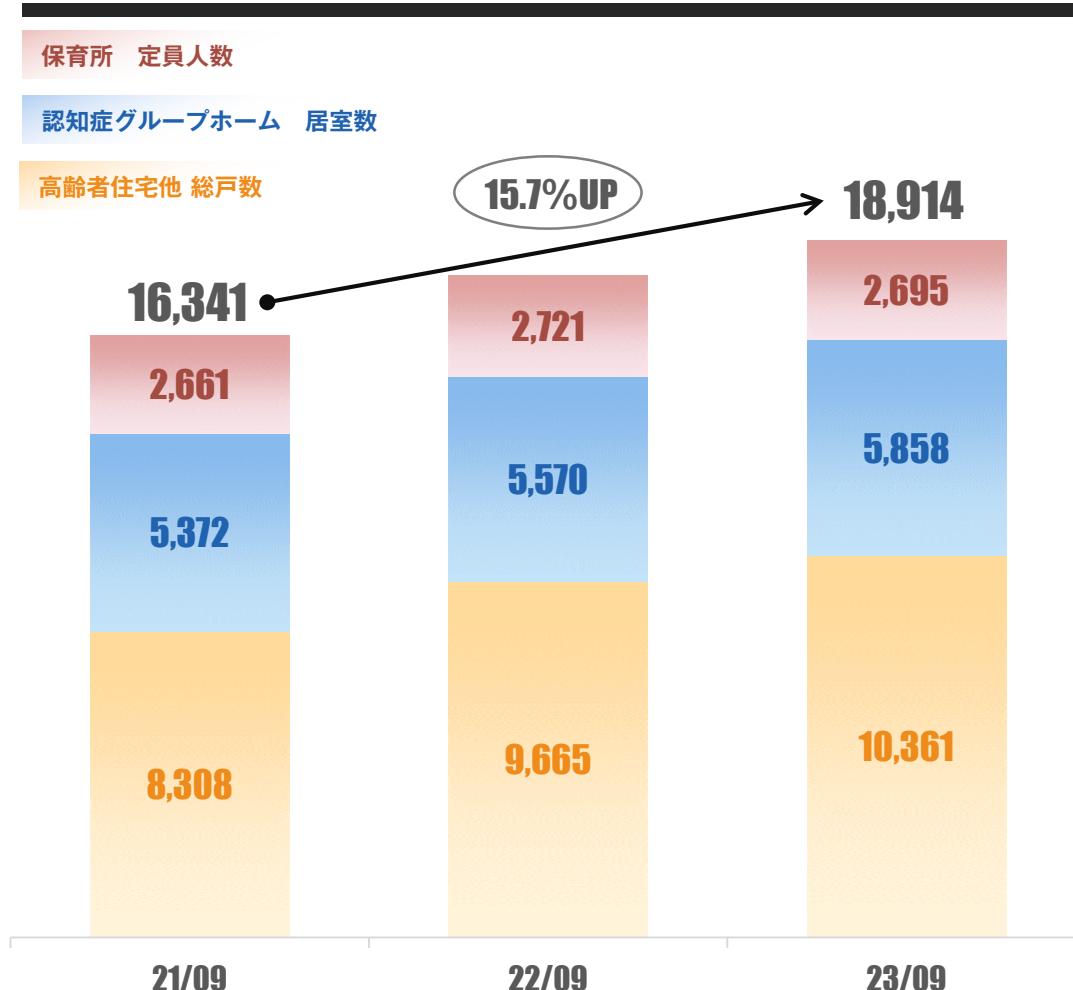
※国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。

※（株）市進ホールディングスが運営する拠点は含みません。

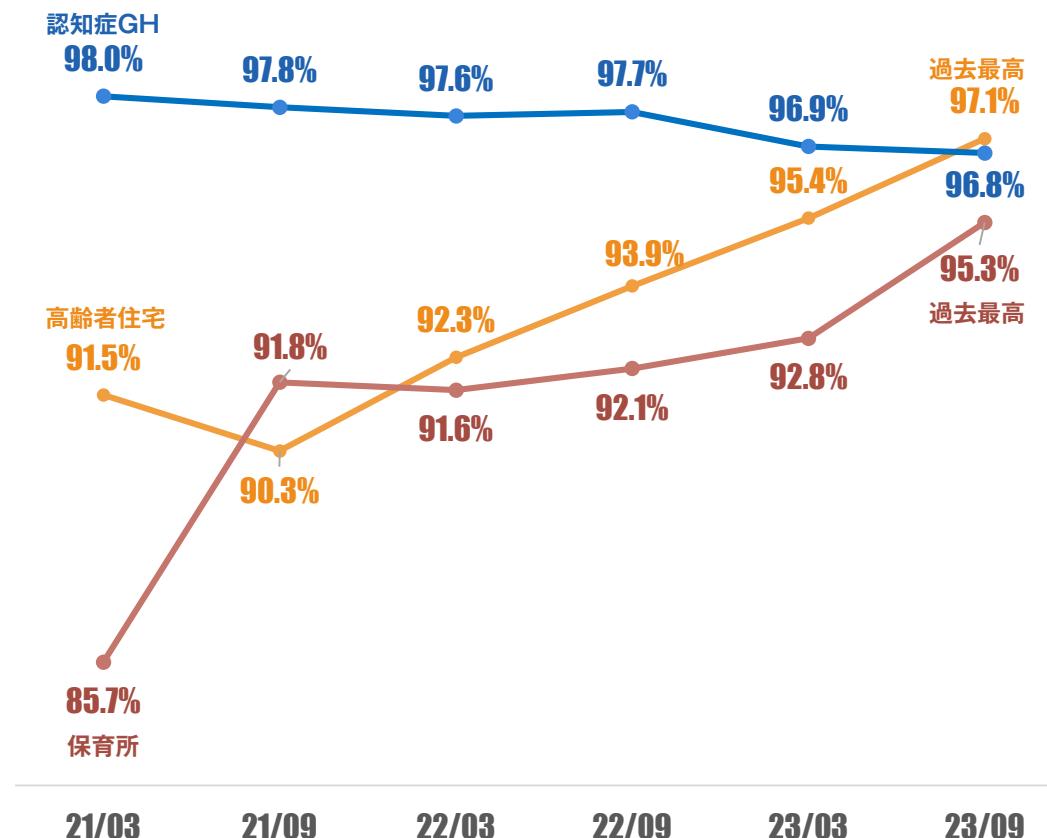
※子育て支援施設は保育園・学童施設・児童発達支援施設・フリースクール、学習支援施設の合算です。従来の開示資料は学習支援施設を含んでいなかったため、2Q実績0を2に訂正しました。他の時点の数値に変更はありません。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数・定員数推移

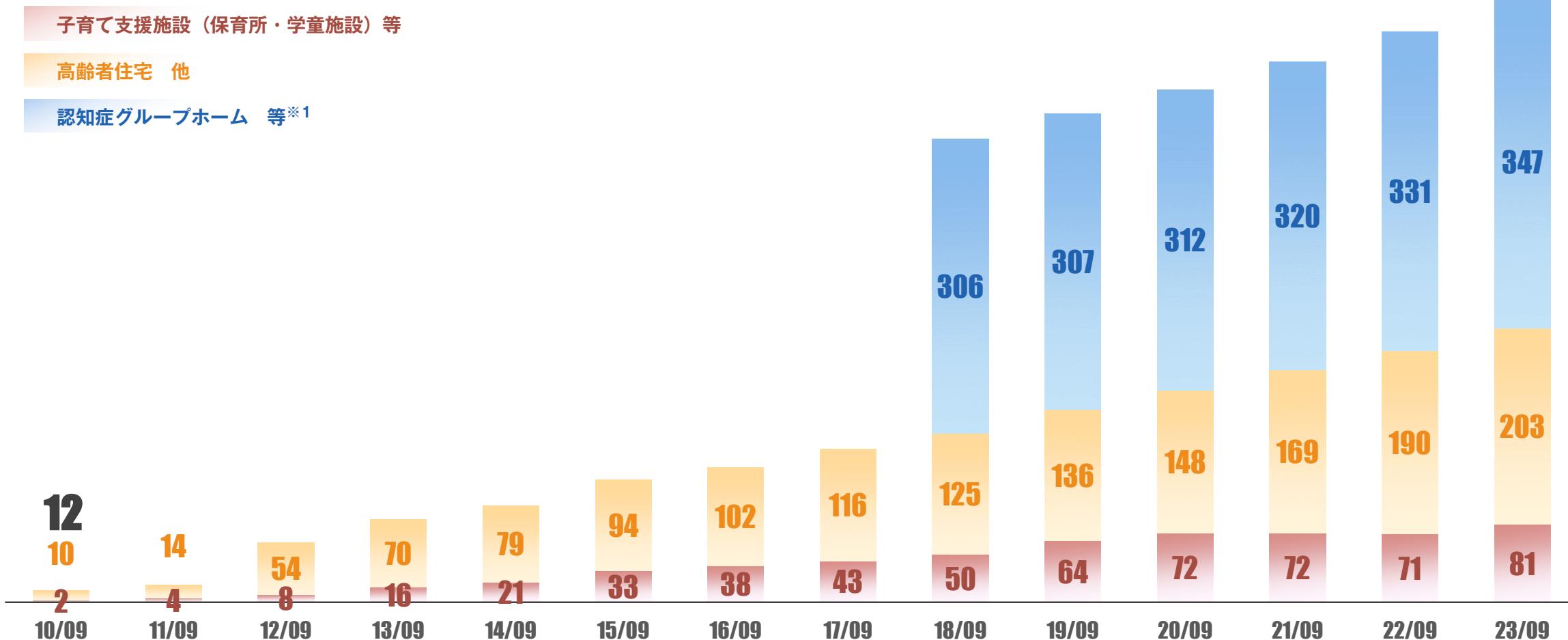


入居率・充足率推移



拠点数

各事業とも新規開設順調。子育て支援施設は、主に学童の運営受託により増加



※記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。(株)市進ホールディングスの拠点は含みません。

※1 海外拠点を含みます。

医療福祉分野 入居率・充足率

		20/03	20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/09
高齢者住宅	総戸数	6,898	7,182	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361
	入居数	6,289	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062
	入居率	91.2%	91.9%	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%
認知症 ^{※1}	居室数 ^{※2}	5,192	5,246	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858
	入居率	98.0%	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%
子育て支援施設	定員数 ^{※3}	2,497	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695
	園児数	2,107	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568
	充足率	84.4%	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%

※1 認知症グループホームの数値には、(株)市進ホールディングスが運営する介護福祉サービス事業の数値は含まれません。

本事業を運営する運営事業会社 メディカル・ケア・サービス(株)は2021年9月期より決算期を変更しました。

これに伴い2021年3月以前の実績は、8月を「9月」、2月を「3月」にそれぞれ読み替えております。

※2 認知症グループホームの居室数に海外および他区分施設の居室数は含まれません。

※3 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

教育分野 Gakken2023の施策・取組

新たな学びの創造と多様な学習機会の創出に挑戦したものの、次世代基幹商品・サービスの確立には至らず

- ：充分に進捗
- △：取組進捗も効果不充分
- ×：未着手／効果薄

事業	主な重点施策と期待効果	進捗	評価
教室・塾	<p>【重点施策】新たに開かれた「双方向型オンライン」市場での優位性を確立</p> <p>【期待効果】受講者層/受講講座数増加</p>	複数の新サービスローンチも、利益貢献は不充分 <ul style="list-style-type: none"> -教室ではことばパークなどオンラインサービスが拡大基調 -塾では対面+オンラインによるアップセルに取り組む -ViSC(バーチャル・スマート・キャンバス)の展開加速 	△
出版コンテンツ	<p>【重点施策】社会人教育の体系化により人生100年時代の生涯学習環境を提案</p> <p>【期待効果】リカレント(社会人)市場開拓</p>	看護師eラーニング、「地球」好調も新サービス開発に遅れ <ul style="list-style-type: none"> -看護師eラーニングの契約病院は3年で48%(859件)増 -「地球の歩き方」を中心に社会人向け実用書を拡充 -リスクリミング関連書の編集体制を強化 	△
園・学校	<p>【重点施策】園現場と家庭を繋ぎ、幼児教育の質向上に寄与</p> <p>【期待効果】子どもたちの生活や行動に寄り添い、一貫性ある学びを提供</p>	デジタル化に取り組むも、売上寄与は限定的 <ul style="list-style-type: none"> -保育ICTシステム「hugmo」導入園が増加 -園向け物販は大部分で苦戦 	×
デジタル	<p>【重点施策】デジタル人材獲得/IT部門集約/プロダクト拡充/Gakken IDによる商材連携</p> <p>【期待効果】お客様のライフステージに適したサービス・商材</p>	デジタル人材の獲得、体制整備は順調 <ul style="list-style-type: none"> -Gakken LEAP設立。デジタル商材の企画・開発・運用を一元化 -同社のデジタル人材採用強化（設立時25名→60名体制に） -社会人向けの「Shikaku Pass」をローンチ 	△
グローバル	<p>【重点施策】グローバル人材獲得/重点事業領域/戦略地域の特定/不採算拠点の精査</p> <p>【期待効果】海外新市場の開拓</p>	グローバル事業の体制構築と投資を実施 <ul style="list-style-type: none"> -グローバル人材採用強化（幹部5名含む） -戦略領域（幼児・STEAM）、戦略地域（越・中・中東）を特定し、拠点展開とパートナーシップ締結を加速 -不採算拠点（泰・稻・馬）の撤退完了 	△

医療福祉分野 Gakken2023の施策・取組

トップカンパニーを目指し、持続可能な街づくりに貢献するため人材・品質の向上を推進。成長基盤を確立

- ：充分に進捗
- △：取組進捗も効果不十分
- ×：未着手／効果薄

取組テーマ	主な重点施策	進捗	評価
人材	定着率向上と早期離職低減	高齢者住宅：離職率24.4%（通期目標20.0%） 認知症GH：離職率22.1%（通期目標20.0%）	△
	新規採用強化、養成事業の展開エリア拡大	介護士・保育士の養成アカデミーなど、人材紹介業者に頼らない採用チャネルの強化・確立	△
品質	DX／ICTによる効率化	介護記録電子化の全店導入について、導入率100%を達成	○
	子育て領域の幅広いサービス提供	新業態「子育てステーション（フリースクール）」1号店開設 学童受託好調	○
	自立支援介護の普及	認知症GHで自立支援介護の導入に取り組み、導入率100%	○
	入院しない、させない看護介護	入院率2.0%を目指すも2.8%に留まる	△
開発	営業力の強化、出店スピード加速	新規出店数 [*] は高齢者住宅13（通期計画16-22） 認知症GH15（通期計画12-15）、子育て支援10（通期計画4）	○
	建物管理強化	プロパティマネジメントの全国展開を進め、順調に進捗	○
	まちづくり強化、海外展開	当上期に海外拠点を1カ所開設。複合拠点はFY2021に1カ所、FY2022に3カ所開設、FY2023は開設なし	○

* 国内ののみの新規出店数です

〒141-8510 東京都品川区西五反田 2-11-8

Gakken

**Gakken Group hopes that everyone has fulfilling lives.
To this end, we provide inspiration, satisfaction, safety for today,
and dreams and hopes for tomorrow.**